

## 仕 様 書

1. 件名 : (仮称) 交野みらい学園 書架等購入
2. 仕様・数量等: 書架等品番仕様リスト一覧、別紙図面及び書架等仕様リストのとおり
3. 納入場所 : (仮称) 交野みらい学園敷地内
4. 契約期間 : 契約締結後～令和7年2月28日
5. 納入期間 : 新校舎建築工事完了が令和6年12月頃のため、納入期間は令和7年1月上旬頃から31日までを予定しているが、工事等の進捗により変更の可能性有。別途協議により定めるものとする。
6. 搬入時間 : 午前9時～午後5時
7. その他
  - (1) 作業時間は、上記の時間内で円滑に作業が進むよう計画を立てること。なお、時間外で作業を行う場合は、事前に交野市の承諾を得て行うこと。
  - (2) 工場より納入場所への輸送については、輸送中に製品の損傷を生じないよう、十分な養生と完全な梱包を行い、現場における補修のないようにする。使用した梱包材等は、撤去及び引取りを行うこと。
  - (3) 現場搬入は、あらかじめ搬入予定表を提出し、日時・場所等交野市の指示に従う。  
また搬入に際しては、製品を破損・汚損しないように養生を行い、取扱いには十分注意をする。  
破損・汚損が生じた場合は、速やかに交野市に報告し現状に復元すること。
  - (4) 現場に取付ける必要のあるものについては、下地材の補強、アンカーボルトの設置等について、位置・場所・時期等に関して遺漏のないよう打合せを行い、交野市の指示により施工するとともに円滑な進捗を計ること。
    - ①床止め: アンカーボルト等にて床に固定する(W1800 に対して 4 箇所)。
    - ②壁止め: アンカーボルト等にて転倒なきよう固定する(W1800 に対して 1 箇所)。

※参考:アンカーボルト名 SANKO CT-830 M8×30

引張耐力 10.7kN

埋込深さ 30mm      コンクリート強度21N/mm<sup>2</sup>の場合

(5) 作業終了後は、速やかに荷造用諸材料、作業場周辺の後片付け及び清掃を行う。

(6) 同等品申請する場合は、別紙「同等品申請リスト」を提出すること。

また、提出した「同等品申請リスト」の寸法が分かるカタログ等も提出すること。

ただし、同等品申請のないものについては、一覧表等に記載の同一の規格とする。

(7) 本仕様書に記載されていない事項については、交野市と協議の上決定する。

## 8. 検査

### (1) 中間検査

製作にあたり、請負業者はその責任において工程ごとに中間検査を行う。検査は、原寸図及び打合せ事項に基づいて行い、その結果と処置を交野市に報告し、承諾を受けること。交野市が必要と認めた場合は、その都度検査を行う。

### (2) 製品検査

製品完成時に工場にて行うこと。検査は中間検査に準じ、請負業者の責任において行い、必要に応じて交野市が行うものとする。

### (3) 最終検査

現場搬入・配置・取付等は交野市の指示に従って行い、すべてが完了した後、交野市が最終検査を行う。

# 技 術 特 記 仕 様 書

## 【一般事項】

- (1) 配置箇所は配置図による。
- (2) 品目、員数は図面、書架等仕様リスト及び品番仕様リスト一覧による。
- (3) 製作図を提出し、図面承諾後でなければ製作にかかってはならない。
- (4) 製作変更、数量変更については交野市の指示による。
- (5) 製作上やむをえなく変更しなければならないような場合は、交野市の承諾を受け行う。
- (6) 製作に先立ち指定材料、張材、色合い等確認のためサンプルを提出し、交野市の承諾を受ける。
- (7) 現場の収まり、取り合わせ等に関する軽微な変更は交野市の指示による。
- (8) 配置完了後は、図面、仕様書、書架等仕様リスト及び品番仕様リスト一覧との照合により検収を行う。  
仕上がり寸法許容範囲は、間口・奥行・高さ±10 mm以内、書架棚板間口・奥行・高さは±1～3 mm以内とする。  
最終検査時、必要に応じて取扱及び手入れ方法等について説明を行う。
- (9) この仕様で製作された製品に関しては、3 年間保証とする。  
最終検査後であっても、材料の不良、製作の粗悪によるキズ、故障等に対しては直ちに新規取替又は補修を行う。(但し、故意等による損傷、天災によるものは除く。)

## 1.材料

### (1) 共通

- ア.特記のない限り使用されている全ての材料等は、日本工業規格(JIS)及び日本農林規格(JAS)に合格したものとする。
- イ.使用されている全ての材料は、新品最良品のものとし材種によってはその採否、使用箇所を交野市の検査及び指示を受ける。

### (2) 木材

- ア. 材料に関しては、添付参考図面の同等以上の仕様とする。

### (3) 接着剤・塗料

- ア.木工用接着剤及び木工用塗料は、目的・用途に応じたホルマリン・トルエン・キシレンを含まない環境対応の優れたメーカー製品を使用する。

#### (4) 金属材

- ア.アングル・プレート・無垢・パイプ等の鋼材は、JIS 一般構造用材の規格に適合するものとし、ネジ、ボルト類も JIS 規格適合品とする。金物は全て防錆用メッキ又は塗料を塗ったものを使用する。
- イ.木製書架の棚板受け金物に使用する棚柱は、アルミ製、またはステンレス製とし、可動ピッチ 12.5～13 mmサイズで調整確認マークの刻印を施してあるものとする。  
棚受金物は、地震時に棚板の落下を防ぐため 5φ以上の径のダボが棚板内部に 8 mm以上垂直に挿入されるようにし、棚柱に対して 2 箇所以上の引っ掛けるツメがある金物を使用するに限る。  
ただし、棚板の下部にはみ出るなど下段の書籍に影響を及ぼす可能性のある受け金具は不可とする。  
使用する金物は予め現物を提出し、交野市の承諾を受ける。
- ウ.棚受金物はステンレス製とする。
- エ.把手・引手・蝶番・鍵類・キャスターその他市販金属部品は、予め見本を提出し交野市の承諾を受け製作する。
- オ.アンカーボルト類はその使用目的に応じた形状・寸法のものとする。
- カ.塗料類は全て JIS 規格に合格したメーカーの製品を使用する。

#### (5) メラミン化粧板類

- ア.特記のない限り、0.95 mm以上のものを使用する。
- イ.表面の仕上げについてはサンプルを提出し、交野市の承諾を受ける。
- ウ.抗菌加工を施された物を使用する。

#### (6) アクリル

- ア.見え掛り又は摺れる部分の小口は研磨する。サンプルを提出し交野市の承諾を受ける。

### 2. 製作（木製書架、木製家具）

#### (1) 木取り

- ア.木取りは、図面により組み上りの目通りを考え材料の不良個所を除き木目、色合等を揃え白太、腐れ等を全て取り除く。

#### (2) 加工

- ア.機械加工は、現寸図に指定された寸法を厳守し、逆目等生じぬ様に注意する。
- イ.手加工において部材の手鉋掛は、鉋目、逆目等の生じぬ様に注意する。

### (3) 組立

- ア.各部材の接合部は、現寸施工図により特に正確に加工し、組立は一旦仮組のうえ目違い等の手直しを行い、その後接着剤を用いて本組を行う。
- イ.特に指定のない限り組立は柄(ほぞ)組、またはダボ組とし、強固に差込み深さは厚さの 2/3 程度とする。  
柄穴、またはダボ穴には十分な接着剤を塗布すること。

### (4) 塗装

- ア.塗装は事前にサンプルを提出し、交野市の承諾を受け製作する。
- イ.特記のない限り木製家具は全てポリウレタン塗装とする。
- ウ.製作工場はアフターサービスの優れた工場でなければならない。

### (5) 箱物

- ア.棚等の箱物は、チリ及び入隅の仕上げに注意し、引出しの側板・底板(4mm 程度)は JAS F☆☆☆☆対応の材料を用い底板は揚げ底とし、側板は角出しとする。

### (6) 卓子類

- ア.甲板が化粧板練り付け仕上げの場合、裏面も表面と同じ仕上げにする。集成材、その他材料の場合でも手触りよく平滑に仕上げる。

## 3.製作(アルミ製品)

### (1) 図面に準じる

## 4.製作(スチール書架)

### (1) 書架形状は複柱書架とする。

### (2) 棚板は、厚み 0.7 mm以上の鋼板でサイズを 850~860 mm×210~222 mm×20~28 mmとする。

### (3) 棚板の耐荷重は水平棚で 40kg/段以上とする。(カタログ記載があること。)

### (4) 側当たりは、厚み 0.8 mm以上の鋼板を支柱に引っ掛け書籍の落下を防ぐものとする。

### (5) 書架本体の塗装は、人体に悪影響を及ぼすキシレン・トルエン等を含まない塗装とする。

## 5.環境対策(VOC 対策)・耐震対策

(1) 図書館家具製造にあたり十分な実績・ノウハウのある家具メーカーの商品で、木製家具工場も環境及び安全対策を十分に配慮させ、また アフターメンテナンスにも迅速に対応できるメーカー及び工場の証明とし、下記書類を提出しなければならない。

- ・ISO14000I 認定証明書(製造メーカー)
- ・ISO900I 認定証明書(製造メーカー)
- ・ISO900I 認定証明書(木製家具製作工場)
- ・棚受金具の震度 6 以上の地震時での棚落下防止耐久実験を証明できるもの。

(2) 今回の工事で特記のない限り使用される全ての材料は、日本工業規格(JIS)及び日本農林規格(JAS)共に

F☆☆☆☆に対応したものであることとし、下記証明書を提出しなければならない。

- ・材料出荷証明書(F☆☆☆☆証明書)
- ・塗料安全データシート(F☆☆☆☆証明書)
- ・接着剤安全データシート(F☆☆☆☆証明書)

(3) その他、交野市より資料(サンプル・証明書等)提出の指示があった場合は速やかに提出しなければならない。